

平成 29 年 10 月 6 日
愛 媛 大 学

「愛媛県の諸問題と解決に向けた協働を考える」 社会共創学部「新入生セミナーB」を開催

愛媛大学社会共創学部1年次必修科目である「新入生セミナーB」では、ステークホルダーが協働し多様な知識を活用し、諸問題解決に向かう、トランスディシプリナリーアプローチを推進するため、東予・中予・南予地方から地域ステークホルダーを招き、各地域における諸問題をご紹介いただき、共に議論していきます。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

【南予地方】

日 時：2017年10月16日（月） 12：40～14：10

場 所：愛媛大学共通講義棟A 11番教室

講 師：浦崎 慎太郎（愛南町水産課水産振興係長）

【中予地方】

日 時：2017年10月26日（木） 12：40～14：10

場 所：愛媛大学共通講義棟A 11番教室

講 師：芝 大輔（松山市消防局地域防災課）

【東予地方】

日 時：2017年11月6日（月） 12：40～14：10

場 所：愛媛大学共通講義棟A 11番教室

講 師：矢野 将文（株式会社今治 夢スポーツ代表取締役社長）

※送付資料2枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学社会共創学部事務課副課長
砂田寛雅

TEL：089-927-8177

Mail：crisoumu@stu.ehime-u.ac.jp

対象学年	1年次	開講時期	3Q	授業科目名	新入生セミナーB		
時間割番号	-	必修・選択	必修	推奨受講年度	1年目	単位数	2
担当講師	松原孝博・後藤理恵・浅井英典・山中亮・大森浩二・二神透・西村勝志						
<p>授業の目的： 近年、地域に関する諸課題は多様化・複雑化している。しかし、単純には課題解決できない実情がある。そうした課題を解決するために求められる能力・スキルが社会共創力である。そこで、本講義では、まず課題解決に向けて求められる社会共創力とは何かを理解する。次に、地域社会の実情と課題について地域ステークホルダーの立場から考える。立場の違いから課題の見え方が異なる点も十分に理解する。さらに、グループワークにより、エリアごとの課題及び協働の在り方を整理し合う。そうする中で、社会共創に関する基礎的な考え方とステークホルダーとの協働を実現するために求められる能力・スキルの基礎を学ぶのである。</p>							
<p>授業の到達目標： ①地域社会の状況を注意深く見つめる姿勢を身につけることができる。②地域社会で生起する諸課題の相互関連性を理解することで、体系的に捉えることができる。③地域ステークホルダーの立場から地域</p>				<p>社会の諸課題を捉えるとともに、立場の違いによって課題への考えが異なることを理解することができる。④グループワークによる協働的素養を身につけ、課題の原因究明及び解決策を主体的に考え述べる。</p>			
<p>授業の概要： 社会共創学の学問体系を概観し、地域社会で求められる社会共創力をDPとの関連性から理解する。また、地域社会の種類、そこでのステークホルダーの役割、地域社会が抱える課題について考える。さらに、地域ステークホルダーの報告による課題の具体的事例から、地域社会の現状に対する関心と理解を深める。</p>							
<p>第1回 ガイダンス -社会共創とは何か- (西村) 授業の目的と到達目標を示し、社会共創の意味、及び社会共創学の学問体系について理解する。</p>				<p>第9回 中予におけるグループワーク</p>			
<p>第2回 学部DPと社会共創学との関係をした上で、習得すべき知識や技能を説明する。(西村)</p>				<p>第10回 東予エリアの特色・強みとそれぞれの諸課題を認識する。(浅井) テーマ：スポーツ資源</p>			
<p>第3回 地域ステークホルダーの種類と地域社会の諸問題及びその相互関連性を理解する。(西村)</p>				<p>第11回 東予ステークホルダーによる事例報告(山中/今治・夢スポーツ矢野社長)</p>			
<p>第4回 南予エリアの特色・強みとそれぞれの諸課題を認識する。(松原・後藤) テーマ：水産養殖</p>				<p>第12回 東予におけるグループワーク</p>			
<p>第5回 南予ステークホルダーによる事例報告(後藤/愛南町役場水産課浦崎係長)</p>				<p>第13~14回 グループディスカッション(後藤/山中/大森又は二神)：8人グループで24グループ程度づくり、エリア毎に8グループに分け、これまでの講義内容及び資料を参考にグループワークしながら、各グループでエリア毎の課題を明確にし、その解決策を策定し、地域ステークホルダーとの協働の在り方を検討した上で、ポスターセッションの準備を行う。</p>			
<p>第6回 南予におけるグループワーク</p>				<p>第15回 ポスターセッション(全員)</p>			
<p>第7回 中予エリアの特色・強みとそれぞれの諸課題を認識する。(大森・二神) テーマ：環境/都市</p>				<p>各グループの2名が5分程度説明し、同グループの4名が他のグループの発表を順次聞いて回る。</p>			
<p>第8回 中予ステークホルダーによる事例報告(大森・二神/松山市消防局地域防災課芝氏)</p>							
<p>評価の方法： 最終的には各グループで行ったポスターセッションに基づいて整理した地域の課題に関するレポートを提出。この成果物をもって、100点満点で評価する。</p>							